

らいてうの家

〒386-2201 長野県上田市真田町 長十の原1278

TEL/FAX 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-11-9-303

TEL/FAX 03-3401-6383

これからの「家」活動に新しい芽が

— 「あずまや高原懇談会」から

8月9日、上田市の「わがまち魅力アップ応援事業」の助成を得て、薬草園ログハウスで「あずまや高原を憩いのひろばに育てる懇談会」をひらきました（らいてうの家運営委員会主催）。

長野県衛生部から西村さんが見えたほか、上田市の真田地域自治センター長笠原さん、あずまや高原自治会長渡辺さんご夫妻、長野県生薬生産組合長牧さんなど当地にご縁の深い方々がお出席、「蚕都くらぶ まーゆ」をはじめ上田市内や菅平で地域活動をしている方がたも見え、米田会長ほか会員も多数出席しました。

そこで話しあわれたのは、半世紀前にらいてうさんがこの土地を求めたときから、ここは「国際平和村」として「平和で静かな憩いの地」をめざす人びとの手によって自然が守られてきたこと、薬草園も大きな役割を果たしてきたことでした。「見渡す限り草原でどこまでも歩いて行けた。マツムシソウやツリガネニンジンも咲いていた。そういう自然をよみがえらせた」（渡辺夫人）、

「薬草は一度手入れを怠ると元通りになるのには数年かかる。一時荒れてしまったが復活させたい」（牧さん）などの思いが語られ、「ここは健康と心の癒しを中心に平和なやすらぎを生む新しい観光地の可能性がある」（笠原さん）という提言や「らいてうの家に行くと中央の杉の大黒柱に抱きついたりするというのが、平和と癒しの心を育てるにはみんなが握手をしたり hug（抱き合う）というようなコミュニケーションが必要ではないか」（竹内さん）「最近上田にきたが真田のお屋敷公園などもいいところだと思う。標識を充実させて行きやすいようにしたら」（宮川さん）といった意見も出ました。

真田町自慢の手づくりおやきやお漬物なども出て和やかな会でした。「これまで接点のなかった広い分野の方が一堂に会して話し合ったことを大事にし、ホテルやペンションもふくめ他の団体や行政とも手をつないで地域が元気になるような活動をしたい」というのが出席した会員の感想でした。来年度の活動計画に反映させたいと思います。（米田佐代子）



らいてうの家で一句

8月のある日、米田会長と長野高校で同期だった内堀迪夫さんが来訪、あいにく会長は不在でしたが、後日こんな句を贈ってくださいました。みなさんもいかがですか。

らいてうの家^も守るおみな^{しおん}紫苑咲く

日の神と^{とな}称ふらいてう^{おみなえし}女郎花

寄付で隣接地を入手！「らいてうさんのお庭」が誕生します！

「もう少し庭が広いといいね」と、オープン以来の希望だった南側隣接地（約 450 坪）の買取りが実現しました！今年の総会で赤字補填の寄付を訴えたところ、思いがけないほどご心配をいただきました。そのお気持ちを形のあるものにして残したいと土地購入を決意、持ち主のご好意で年内に手続き完了の予定です。来年春にはみんなで「庭づくり」をしませんか。夢がまた広がりました。ご寄付くださったみなさま、本当に有難うございました！整地費などがかかるので募金は継続中です。どうかよろしくお願い申し上げます。

ますます佳境の「宮島源氏」に聞きほれました

秋晴れの 9 月 20 日、4 回目の源氏物語講座には講師の宮島満里子ファンも含めて大勢参加。「宇治十帖」がテーマで、後ろ盾を持たぬ姫君があまた言い寄る男たちに対し自分の意思を貫こうと苦闘するさまを、「これが紫式部のメッセージ」と読み説くみごとに魅せられました。感想や意見も活発に出て、楽しい時間を過ごしました。



「家」運営委員会の相談

9 月 18 日、緊急に「家」運営委員会の打ち合わせをしました。今年度の「家」事業終了を前に、来年度企画についての相談をするためです。細部は理事会で検討しますが、隣接地取得や夏のあずまや高原懇談会での話し合いの成果を生かし、会員外からも実行委員を募って来年度上田市の「文化支援事業」に応募してはどうか、という意見が出ました（締切 9 月 30 日）。日時が迫っているため、関係方面の折衝を経て判断する予定です。

「花の百名山」 根子岳

8 月 23 日（日）「佐藤真子 らいてうをうたう」はとても素晴らしく、「元始、女性は太陽であった」や「君 死にたまふことなかれ」「一本の鉛筆」「死んだ女の子」など、声も選曲もよくてすっかり魅了されました。さてその翌日、なんと「花の百名山」根子岳に登ろう会 4 人組が誕生。私にとっては念願のチャンス到来。いいお天気になりそう！と空を見上げ出発。

朝 9 時半、菅平牧場の駐車場に車を置き 2 2 0 7 m の頂上をめざしました。登りだして間もなくピンクの小さい花ハクサンフウロ、次にはマツムシソウ、ヤナギランの群生が待っていました。それにワレモコウ、ノハラアザミ、マルバブキタケ、ウツボグサ、ヤマハハコ、イブキジャコウソウ、ウスユキソウ、コオニユリ、ハナイカリ、ヒメシャジンなどなど。そして小さいながらもかがやくような白さのウメバチソウ、鮮やかな紫のハコネトリカブトも。花を見たり白樺林をめだたり、青い空に浮かぶ雲を見たり、よそ見が多い私は足を踏み外したりしながらもなんとか昼過ぎ頂上に到着。四阿山、広い牧場と菅平高原、あいにく北アルプスまでは見えませんでしたが、さわやかな気持ちのいい風に元気ももらって無事下山。夏と秋の花が見られ本当に「花の百名山」を堪能、幸せな気持ちになりました。そして目的を達した登ろう会は上田駅で解散。（井上美穂子）

おわびと訂正：「らいてうの家通信 14 号」2 面「続 病室のらいてうさん」の小林綾枝さん（上田市在住）は（さいたま市在住）の間違いでした。おわびします。

NPO 平塚らいてうの会

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-11-9-303 TEL・FAX 03-3401-6383

ゆうちょ銀行 口座 00150-9-553046 NPO 平塚らいてうの会